

令和7年9月18日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

開催日	令和7年9月18日（木）
場 所	教育委員会室
開 会	午前10時00分
閉 会	午前11時04分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	岸 田 玲 子
委 員	岡 田 卓 巳
委 員	小 山 勉
委 員	木 ノ 内 建 造
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	岩 瀬 均
庶 務 課 長	塩 澤 満
学 務 課 長	北 野 亘
指 導 室 長	石 坂 泰
すみだ教育研究所長	土 井 翔 太
地域教育支援課長	戸 村 健 太 郎
ひきふね図書館長	石 井 邦 恵
教育センター所長	指導室長 石坂 泰 兼務
教育委員会事務局副参事	山 崎 紀 之

2 議題について

（1）議決事項

議案第43号 教育委員会の点検・評価結果報告書（令和6年度対象）について

（2）報告事項

第1 教育課題の進捗状況について

第2 「（仮称）墨田区学校改築基本計画」の検討状況について

第3 児童・生徒の事故等の状況について

第4 学校運営協議会設置に伴う協議会委員の任命について

第5 「墨田区学習状況調査」の結果について

3 会議の概要について

○教育長 それでは、本日の教育委員会を開会いたします。本日の会議録署名人は、小山委員にお願いします。

議決事項第1・・・資料番号【43-1～43-84】

議案第43号「教育委員会の点検・評価結果報告書（令和6年度対象）について」を上程し、庶務課長が資料のとおり説明する。

○教育長 ただいまの説明について、何かご質疑、ご意見はございますか。

○小山委員 3人の委員の方の総評を読ませていただきました。今、生成系AIがすごく発達して、児童も生徒も使っているようですが、例えば「何々の本についてどんなことが書いてありますか。」と入力すると、生成系AIが本の内容を要約してしまったり、読書感想文も書けてしまいます。しかし、全国学力調査の分析を見ると、「読書が好きか」という質問に対して、国語だけではなくて算数、数学も理科も社会も好きだと言う子どものほうが、成績が良いです。3人の委員の皆さんが、学校図書館のことを十分評価していただいて、その推進を図るべきと言ってくださっています。墨田区が今取り組んでいる、読書や図書館を使った調べる学習など、それらをさらにしっかり進めていくように、という評価をいただいたと思っています。墨田区は今取り組んでいることを、ぜひ自信を持って進めていただければと思いました。

○岸田委員 スクールソーシャルワーカーに関して、長谷川委員が、もう少し人員を増やしたほうがいいのではないかとおっしゃっています。佐藤委員は、今後はさらに民生委員、児童委員、主任児童委員の力も活用するようにとおっしゃっています。私の中では、このあたりの連携が取れているのかどうかということが、とても気になっているところです。スクールソーシャルワーカーが訪問するのは、何週間に1回であるのに対して、主任児童委員は見守りという制度があります。例えば、本当にそこに住んでいるのかどうか、日中はどのような暮らしをしているのかということは、私の事例で言うと、買物に行ったときに偶然会ったり、お母さんと一緒に駅の近くのコインランドリーに行くところを見たりして、知ることができました。学校と民生・児童・主任児童委員の連携が取れていくと、より見守り体制ができるのではないかなと思いました。

○指導室長 今、委員のおっしゃったとおり、連携はすごく大事だと思います。スクールソーシャルワーカーについては、月に1回、定期的に集まって情報交換会を行っていますので、今のご意見については、その中でしっかりと反映をさせていきたいと思っています。また、主任児童委員さんの集まりには、スクールソーシャルワーカーも個別に行ったりしていますので、そういうところでも改めて、情報交換や連携をしていくという視点はしっかりと持てるようにやっていきたいと思っています。

○教育長 資料の43-34「目標2 豊かな人間性の育成」の「14 自己有用感及び自己肯定感の醸成」に、自己肯定感についての記述はあるのですが、自己有用感についての記述がありませんが、どうなっていますか。

○指導室長 自己肯定感を高めるということについては、当然、自己有用感を高めていく中で、自己肯定感が高まっていくという考え方は持っております。自己有用感という文字としては出ていませんが、考え方としては、自己有用感を高めていくことで、併せて自己肯定感を高めていくというものです。これは「主要な教育課題」の中の文言としても入れているので、学校のほうにはその考え方で伝わっているというふうに考えています。

○教育長 これは議会に報告するものですから、その部分をしっかり書かないとよくないと思います。室長が言ったことはそのとおりで、教育の関係者であれば分かります。けれども、国立政策研究所でも、自己肯定感よりも自己有用感のほうを重視しているわけです。このままでは自己肯定感のことしか見えません。自己有用感という文言を入れる必要があるのではないですか。

○指導室長 委員の皆様にご了解いただければ、修正させていただきます。

○教育長 室長がご説明した内容を加筆したいと思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○岡田委員 第三者評価委員の方も言及されていますが、資料の43-70の「55 学校運営連絡協議会と国型コミュニティ・スクール導入への検討」の成果として、「学校の教育活動について協議し、様々な意見を基に教育活動の改善を図ることができた。」とありますが、具体的に、こんな成果があったという事例があれば教えてください。また、昨年度の評価委員意見として、学校運営連絡協議会の委員にスクールカウンセラーを加えたらどうかという意見もあったようですが、それが可能なかどうか、そのあたりもお聞かせください。

○指導室長 まず具体的な成果として、新しくコミュニティ・スクールになった学校で、教員の人事に関して意見を出すことができるということがありました。ある小学校で、理科の学力が少し低いので、その指導ができる教員を入れられないかという意見があり、指導室でも、教員の異動の際に、東京都と調整をし、教員の配置に配慮ができたということがありました。そういうところで地域の方々の意見を教育活動に反映させることができています。次に、スクールカウンセラーを委員に入れることについて、カウンセラーとして勤務する時間数が決まっているので、その時間外に委員の活動ができるのかどうかというところは、調べていきたいと思います。ただ、できるかどうかは、お約束ができない状況です。

○教育長 学校運営連絡協議会の委員は学校で決めるのですよね。そのときに、職としてスクールカウンセラーを入れることはできるのですか。地域の方で、職業がスクールカウンセラーだという方が委員になることはあり得るかもしれませんが、スクールカウンセラーを職として入れることになると、教育委員会で規定することになりますか。地域の要請があったときに、地域のスクールカウンセラーの方に入っていただくことはあるかもしれませんが。

○指導室長 学校の職員として入るには、校長や教員という規定があるので、そこに入るかどうかは難しいところがあります。その地域の方で、スクールカウンセラーを職としている方がいて、その方が地域住民として協議会の中に入るということは、考えられると思います。

○小山委員 長谷川委員の意見の「目標2について」に、「人権教育、道徳教育も、学校ではよく取組をしていると思います。しかし、私は、小学校、中学校の最高学年には、もっと具体的な内容でも良いかなと思っています。」というご意見がありますが、どういうことをイメージするか、教えていただけますか。

- 指導室長 道徳は今、「特別の教科 道徳」と位置付けられていますので、指導項目も、ある程度定められています。その中で、具体的な内容となると、例えば人権教育でも、より地域に根差した、地域の実情を反映した考え方や取組、実際に自分たちの生活の中で起こっている出来事について教材にして考えていくなど、そういったことを求めているのかなと捉えています。
- 小山委員 そうですね、最高学年を指定されたご意見ということは、学校の中でのそういった活動も、道徳科の授業ではなく、それを広げた人権も含めて、具体的にどのように活動するのか、目標を立てるのか、そのようなイメージだと思います。
- 木ノ内委員 評価委員の方のご意見については、どのくらい尊重していくかということが課題になってくるといふことと、全体的にいい評価をされているといふことですので、ますますこのまま押し進めていくのがいいかなという感じを受けました。
- 教育長 ほかによろしいですか。
(質疑なし)
- 教育長 それでは、議案第43号は、先ほどお諮りした内容の修正をした上で、議会に提出するとともに公表することにしたいと思いますが、ご異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 教育長 それでは、修正の上、議会に提出するとともに公表することにします。

報告事項第1・・・資料番号【資料1-1～1-2】

「教育課題の進捗状況について」、指導室長、すみだ教育研究所長が資料のとおり説明する。

- 指導室長 (「不登校防止対策の充実」について説明する。)
- 教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。
- 木ノ内委員 校内別室学級の3年生9名のうち4名が修学旅行に行ったということですが、残りの5名の方が参加できなかった理由は、主に何ですか。
- 指導室長 不登校の生徒たちですので、このような行事があるときに、いざ日程が迫ってくると、一步を踏み出せない、不安感が出る生徒がいるというのは、これまでの様々な行事でも見える傾向です。今回、参加できなかった5名については、学校にも教員は残っていますので、オンラインで学習をしたり、スモールステップルームを活用して対応できました。
- 小山委員 長崎に行くねらいは何でしょうか。
- 指導室長 旅行先については、学校が選定をしましたが、長崎の平和祈念公園など、社会科の学習も含めて選んでいると思います。また、校内別室学級の修学旅行を行う目的は、通常の学級の生徒たちと一緒にいくことについてハードルが高いことと、やはり何か経験ができるところで、経験をさせていきたいという趣旨から、修学旅行を行っています。場所については、初めての試みですので、今回の様子や、負担感などを含めて、今後検討していくことになると思います。
- 小山委員 特別な支援が必要なお子さんですから、電車や飛行機に乗っている時間が負担になるのかもしれませんが。平和教育であれば広島でもできるのかなと思ったりもしますし、そういう意味でねらいが分かればと思いました。また、夏休みの登校日については、私が校長だったときは、中学校だと2学期の始まる1週間ぐらい前に設定して、生活の乱れを確認したり、宿題を確認して、9月1日に学校に行きたくないという子どもを少しでも減らそうとしていまし

た。墨田区の中でも5校の中学校が登校日を設定しているということで、生活指導の面でいろいろ考えているんだなと思いました。

○すみだ教育研究所長 （「墨田区学力向上新3か年計画第3次の推進及び第4次計画の策定」について説明する。）

○教育長 ただいまの報告について、何かご質問はございますか。
（質疑なし）

報告事項第2・・・資料番号【資料2-1】

「「（仮称）墨田区学校改築基本計画」の検討状況について」、学校改築計画担当副参事が資料のとおり説明する。

○教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。
（質疑なし）

報告事項第3・・・資料番号【資料3-1～3-2】

「児童・生徒の事故等の状況について」、指導室長が資料のとおり説明する。

○教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。

○岸田委員 一般事故の発生場所の内訳で、中学校のその他が5になっていますが、これは、管理外の事故も含めての5ということでしょうか。

○指導室長 そうです。

○岸田委員 その他というのはどういう場所なのでしょうか。

○指導室長 これは、1つは部活動で、学校以外の場所での競技大会に出場したときに起きたもので、これが2件あります。それから、修学旅行中のけがと、学校以外の場所での運動会でのけが、放課後に近隣の公園でのけががあります。

○岸田委員 公園で遊んでいるときのけがが、管理外の1件ということですね。

○指導室長 はい、その他の発生場所ということになります。

○岸田委員 下校の途中で公園でけがをしてしまった場合は、管理下になりますか。

○指導室長 そこは判断が難しいところです。スポーツ振興センターの基準、条件で、管理下と管理外を区分していますので、原則は、下校中は管理下に入ります。ただ、下校の途中に寄り道をしたり、本来の下校の途中ではないところ、今あったような、下校の途中に公園で寄り道をして遊んでいたところでのけがとなると、場合によっては下校のときに起きたものではないという扱いになって、管理外となる可能性はあります。

○木ノ内委員 交通事故の2件は、飛び出しと横断中ということですが、これはいずれも、相手方は車両、自動車ですか。

○指導室長 相手方は、2件とも自転車です。

○木ノ内委員 具体的な事故内容、事故状況で、事故に遭った児童と自転車との責任割合は、どうなっていますか。例えば、飛び出しのケースでは、完全に児童の側がよくなかったということなのでしょうか。横断中のケースでは、自転車の不注意はどういう感じだったのでしょうか。

○指導室長 飛び出しのケースは、登校中、信号のない場所の道路を横断しようとした児童が、走行してきた自転車と接触したということで、これは警察と連携を図りながら対応しています。

横断中のケースは、交差点を歩いているときに自転車とランドセルが接触をして、その結果、ランドセルが押される形で子どもが前に倒れたというものです。けがは、両方のケースとも擦り傷ということで、大きなけがにはなっておりません。

○教育長 加害割合は分からないのですね。

○指導室長 はい。

○木ノ内委員 今後に生かすために、今回の2人のお子さんの不注意の程度というか、何を怠ったのかという分析をしておかないと、事故を将来に生かせないと思います。避けられない事故だったということであれば、それは違う形で教訓として伝えていくべきだし、注意すべきところがあったとして、具体的に分析できているのであれば、今後の事故に対して警鐘を鳴らすという意味で、それを使って指導に生かすことに意味があると思います。

○指導室長 今回の件ですと、信号のない場所の道路を横断しようとして自転車と接触しているので、横断歩道が設置されている場所や信号のあるところで渡るという、交通ルールをしっかりと指導していく必要があると思います。子どもたちの側に交通ルールが守れていないところがあった場合には、その都度しっかりと指導していくようにします。

○教育長 庶務課に元警察官の交通安全指導員がいますが、事故が起きたときは庶務課から学校を指導していますか。

○庶務課長 事故があると指導室から庶務課に詳細な報告があり、例えば自転車の事故が多い傾向がある場合には、そこに指導にポイントを置くようにします。また、区内の事故だけでなく、全国的に大きな事故が発生したときには、必要に応じて指導を行っています。木ノ内委員がおっしゃられたように、事故の原因を分析することは重要であると思いますので、交通安全指導員にも伝えていきます。

○教育長 ほかにございますか。

(質疑なし)

報告事項第4・・・資料番号【資料4-1～4-3】

「学校運営協議会設置に伴う協議会委員の任命について」、指導室長が資料のとおり説明する。

○教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。

(質疑なし)

報告事項第5・・・資料番号【資料5-1～5-10】

「墨田区学習状況調査」の結果について、すみだ教育研究所長が資料のとおり説明する。

○教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。

○小山委員 「家で、『ほとんど勉強しない』」という中学校第3学年の割合が11%に減少していることがすごいと思います。「目標に向けていつもコツコツ学習している児童・生徒数」の割合が出ていますが、これは塾に通っている割合が高いので、家で勉強するより塾で勉強している子どもが多いということも、この数値がいいことにつながっているのでしょうか。

○すみだ教育研究所長 この「いつもコツコツ」については、家で学習しているのか、塾で学習しているのか、では分けていません。それらを含めて「コツコツ学習する」という長期目標です。いずれにしても、学習習慣の定着をさらに上げることによって、覚えたことを忘れずに、

さらに定着させることができますので、引き続きこの目標に向けては取り組んでいきたいと考えています。

○教育長 塾で学習している割合は把握していないのですよね。

○すみだ教育研究所長 はい。

○教育長 そうすると、今、小山委員が言われたように、塾での学習も含んでいて、学力が上がってきているので、何かしら興味は持っているということが分かります。

○すみだ教育研究所長 この目標設定については、家なのか、塾なのか、または図書館などで勉強しているのか、いろいろな選択肢はあると思いますので、その点については、今後のさらなる定着のために、分析を検討していきたいと思っています。

○教育長 校長先生をはじめ学校の先生方が努力して、これまでなかなか学力が上がらなかった学校も、今年になって学力が上がってきた学校が徐々に見えてきました。

○すみだ教育研究所長 これまでいい結果が出なかった学校も、実際にはありました。ただ、昨年度も含めて学校ともヒアリングや意見交換をして、学校が頑張っている成果が徐々に表れ始めています。今回、ほぼ全国平均を越えるという結果までつながった学校もありました。引き続き、全校の児童・生徒が学力向上できるよう、取り組んでいきたいと思っています。

○教育長 そういう学校は、校長先生が責任を感じて、自分が異動しないで何とかしたいという心意気の校長先生もいます。一方で、今まで学力が低かったけれど上がってきている学校は、一般の先生と話しをすると、学校が楽しいと言い、そういう雰囲気も感じ取れるので、非常に頼もしいと思います。今、子どもたちが一生懸命頑張っているのですが、校長のリーダーシップの下、先生方が頑張ってくれていますので、定着するには、まだ時間がかかるのかなと思っています。墨田区では学習状況調査の過去問を、やらせていません。過去問を推奨してやらせているわけではなく、振り返りシートというものを使っています。また、社会は問題データベースを使っています。国の調査では応用問題もあるので、すみだ教育研究所が単元別にまとめて、それをやるようにしています。一方で、D・E層については、どうやったら子どもたちに分かりやすく教えられるか、研究しています。

○教育長 以上で、本日の議事は全て終了しましたが、そのほかに、委員の皆さんまたは事務局から何かございますか。

(質疑なし)

○教育長 ほかになければ、これで教育委員会を閉会します。